

2026年3月17日配信 株式会社グラフ

企業 AI 案件をそのまま大学の授業に。

「データサイエンティスト・オブ・ザ・イヤー」受賞教授が、年間350名の超・実践型 AI 人材育成を始動

インフラ企業の実データと課題を扱い、「実務経験のないAI人材」問題を解消。即戦力の「産業AI人材」を輩出する新・教育モデルを2026年4月に開始

AI・データサイエンス領域の研究開発を行う株式会社グラフ（本社：東京都港区西麻布、代表取締役：原田博植）は、同社代表の原田博植が2026年4月より政府肝煎りの高等教育機関である専門職大学教授（フルプロフェッサー）に就任し、新たなAI教育モデルを始動することをお知らせいたします。

原田は「データサイエンティスト・オブ・ザ・イヤー/DSOTY」（2015年、日経BP主催）を受賞し、長年にわたり企業のデータサイエンス研究と社会実装を牽引してきました。本取り組みでは、グラフ社が元請けとして受注するインフラ企業などの実案件を大学の授業に直接接続。同社のインターンシップと大学教育を掛け合わせ、年間350名規模の即戦力となる「産業AI人材」を育成します。

■ 背景：「AIの知識はあるが、実務経験がない」という構造的課題

現在、日本の大学においてAIやデータサイエンス教育は拡大していますが、学生が扱うのは整備された学習用データが中心です。大規模システムのガバナンスや複雑で神経質なコーポレートスチュワードシップが求められる「実際のビジネスAI開発」に触れる機会は極めて限定的となっています。

その結果、インフラ、製造、金融、通信、小売など多くの産業でAI導入が急務となる中、「企業AIプロジェクトの実務経験を持つ人材」は慢性的に不足し、教育と実務の間に大きな乖離が生じています。

■ 教育モデルの核心：学生が本物の「企業AI案件」を担う仕組み

こうした課題に対し、株式会社グラフが手がける国内主要産業のAI開発・データ分析案件を教育プログラムへと分解し、学生が実務を経験できる環境を構築しました。学生は在学中から以下のような実践的なスキルを習得します。

- インフラ企業等の実データを用いたデータ分析
- 実際のビジネス課題に対するAIモデル開発
- 企業の意思決定に直結するデータ戦略設計

【年間350名規模の育成体制】

区分	人数
グラフ社インターンシップ	約300名/年
開志専門職大学 担当学生	約50名/年
合計	年間約350名

■ なぜ「正規の大学教授（フルプロフェッサー）」としての就任なのか



デジタルネイティブという言葉が過去のものになり、今日の学生たちは「AI ネイティブ」ということになります。日々AI が社会システムを更新していく一方で、年度ごと教育科目を見直す従来の大学制度では適切な対応が難しくなっています。そんな中、開志専門職大学が属する専門職大学制度は、文部科学省が「実務と学術の高度な融合」を目的として創設した新しい高等教育機関です。

グラフ社が企業研究の現場で蓄積してきた「実務環境へのAI 実装」の知見と、同大学の理念が一致したことから今回の就任に至りました。准教授や特任教授ではなく、正式な教授職（フルプロフェッサー）として受嘱することで、この新教育モデルの実現に向けた万全の体制を構築します。

■ 代表取締役 / 開志専門職大学 教授 原田博植のコメント

「AI 人材育成における最大の壁は『本物の産業データと課題』に触れる機会が足りないことです。今回の取り組みでは、インフラ企業をはじめとする実際の企業AI 案件を教育にダイレクトに接続します。学生が『AI による大規模ビジネス課題解決』を経験できるAI 教育開発に腰を据えて取り組むためにテニュア（終身在職権）を拝命しました。即戦力となる実務経験者を育成し、日本のAI 活用を根底から支える産業AI 人材の基盤強化に貢献していきます。」

株式会社グラフ 代表取締役 / 開志専門職大学 情報学部 教授 原田博植

■ 開志専門職大学について

新潟県新潟市に所在し、実務教育を重視する専門職大学制度のもと設立。企業と連携した教育や臨地実務実習をカリキュラムの柱としており、今回の企業AI 案件を活用した教育モデルは、同大学の実務教育の強みを最大限に活かす取り組みです。（2026年4月より原田が情報学部教授に就任）

■ 株式会社グラフについて

AI・機械学習およびデータサイエンス領域の研究開発と社会実装を行う企業です。インフラ、金融、製造、小売、放送、通信、運輸、創薬など多様な産業において、企業のデータ活用や意思決定の高度化を目的としたアルゴリズム設計・データ分析技術の実証研究を数多く手がけています。

会社名	株式会社グラフ
設立登記	2015年10月
資本金	55,072,000円
所在地	東京都港区西麻布
代表者	代表取締役 原田博植
事業内容	AI・データサイエンス研究開発、アルゴリズム開発、データ活用コンサルティング
Web	https://www.gruff.co.jp

■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社グラフ 広報担当：大高

Email : satomi_ootaka@gruff.co.jp

Web : <https://www.gruff.co.jp>